

競技場で強くなったオリンピック

いまい てつお
今井哲夫さん



柏崎市立博物館提供

小学生の頃、現在の長岡市で開催された第1回県下少年オリンピック大会で優勝し、大学生の頃は、箱根駅伝にも連続出場しました。昭和10(1935)年、全国の選手が出場する大会の3000メートル障害で日本新記録を叩き出し、優勝。日本代表となりベルリンオリンピックに出場しました。柏崎市長を2期(8年)務め、今の陸上競技場が全天候型に変わったのは、今井さんが市長として重責を果たしていた時でした。今でも、今井さんの功績を偲び、今井哲夫記念柏崎ジュニアオリンピック陸上競技大会が毎年開催されています。



体育人 今井哲夫
(柏崎体育団)より

競技場にあるもの

坂田四郎吉胸像



昭和48(1973)年に建てられた石碑の隣で現在も競技場を見守るように坂田さんの胸像があります。平成22(2010)年に建設されました。

競技場の大時計

70年ほど前に全国高校駅伝で新潟県の代表として活躍された村山忠利さんから平成18(2006)年に寄贈されました。直径90センチの大きな時計です。観客席の中心に設置され、競技場のどこからでも時間が分かるようになりました。



年表 (概要版)

大正10(1921)年3月4~7日

「大運動場を柏崎に建設せよ…一町民」の論文が柏崎日報に掲載される

大正11(1922)年11月

補助金を受けるにあたり刈羽郡体育協会(現:(一財)柏崎市スポーツ協会)が発足

大正11(1922)年12月

町議会在が刈羽郡体育協会大運動場建設に補助金の支出を決定

大正12(1923)年5月

刈羽郡体育協会グラウンド(現在の陸上競技場)着工

大正12(1923)年8月

工事にあたり中鱈石膏青年団100名が労力奉仕

大正12(1923)年8月

刈羽郡体育協会グラウンド竣工

大正12(1923)年10月

県下少年・少女オリンピック大会を開催

昭和5(1930)年度

全日本陸上競技連盟から乙種公認競技場と認定

昭和15(1940)年

大日本陸上競技連盟から第二種公認競技場に公認

昭和15(1940)年9月

第1回柏崎市民大運動会を開催

昭和55(1980)年

県内初の全天候型トラックとスタンドが完成

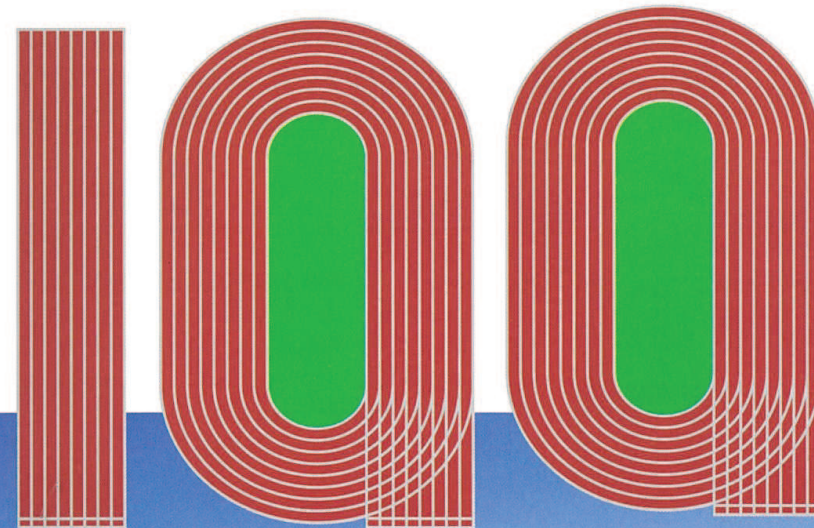
平成18(2006)年11月

時計の寄贈(昭和57(1982)年に続き2回目)

平成22(2010)年10月

坂田四郎吉像除幕式

柏崎市陸上競技場が8月26日に



年を迎えます。



発行: 柏崎市陸上競技場100周年記念事業実行委員会

(事務局: 柏崎市教育委員会スポーツ振興課)

柏崎市陸上競技場について

大正12(1923)年に建設され、現存する日本最古の公認グラウンド(昭和5(1930)年度認定)といわれる柏崎市陸上競技場は、「柏崎を日本一の体育の都に」「体育の理想郷建設」の願いを込め、柏崎の体育の父と呼ばれた坂田四郎吉さんと、志を同じくする人々が集い完成させたものです。競技力の向上、

そして何より庶民の健康増進運動の普及を大目標とした、柏崎体育の原点といえる施設です。当時は、数少ない国内での公認グラウンドであったことから、全国から競技者が集い、多くのオリンピック選手の育成の場となると共に数々の大会、マスゲーム(集団体操)大会などが盛んに行われました。

陸上競技場発起人

さかた しろうきち
坂田四郎吉さん



柏崎市立博物館提供

明治20(1887)年与板に生まれました。生まれながらの脆弱な身体を鍛え直し、教員になる夢を果たします。

柏崎尋常小学校(現:柏崎小学校)に赴任した坂田さんは「大運動場建設」の夢の実現に向けて動き出しました。活動を始めた頃は「大金で子どもの遊び場を作るな」などの非難の声ばかりでしたが、協力したいという青年との出会いをきっかけに、坂田さんの考えに賛同する町民が増えていきました。

坂田さんは、補助金をもらうために刈羽郡体育協会(現:(一財)柏崎市スポーツ協会)を有志とともに発足させ、どんな困難にも負けず、大運動場建設の夢を実現させました。



柏崎市立博物館提供

坂田さんは、雨の日も風の日も毎日競技場に行って、多くの仲間とともに整備をしていたそうです。また、礼儀やマナーも大切にされた方でした。

陸上競技場 建設中の様子



柏崎市立博物館提供



柏崎市立博物館提供

大正12(1923)年3月から工事の準備が始まり、柏崎の人々が協力し合い、民間が運営する運動場が完成しました。昭和25(1950)年までは、刈羽郡体育協会により厳格に管理され、その後は市営となりました。

1923年8月26日竣工!!



柏崎市立博物館提供

これが陸上競技場の初めのころの様子です

チェック

完成当時はルールを知らず下駄や自転車で競技場へ入る人もいて、坂田四郎吉さんに一喝されていたそうです。



完成した競技場で行われた大会

マスゲーム大会



柏崎市立博物館所蔵
小竹コレクション絵はがき

ポイント

柏崎の学校が集まりみんなで体操をしました。坂田さんが中心となって約7,000人がラジオ体操をしたこともあるそうです。

県下少年・少女オリンピック大会



柏崎市立博物館提供

ポイント

競技場が竣工した年の10月には県内の小学生が集まり、陸上競技大会が開催されました。